

---

デジタルパンク通信 第九話 2000年11月号

---

Q 国際でしょうか。土着でしょうか。

A 土着です。

以下、あるアメリカ人デザイナーが初来日し、私と一緒に渋谷と六本木をぶらついた実録。

なんじゃこの自販機の多さは。「すごいだろ日本は自販機王国でな、何でも売ってるぞ、ビールもタマゴやカブト虫もな」それにしてもジュースの缶のデザインがポップだな(イラッシャイマセ)うわっ、しゃべった。「これ全部ネット端末にしたらいいと思わない？」コンビニが異常に発達してネット基地になってると聞いたが。「そう、コンビニと郵便局と交番がどこの町にもあってな、いずれこの3つがネット基地の覇権争いを始めることになる」しかし暑いな。「すまん、アジアなもんでな」

おいこの坂道、城がたくさんあるが？「ラブホテル」なんじゃそれ。「愛ある二人のゆく館だよ。」ギャハハハハ。濃いなあ、日本。「ここの回転ずし食うか」おい待てこのショーケース、ニセモノか？「ああ、全部ロウ細工だよ」スゲーなー、このエビとかイクラとか最高のデザインと技術だな。「すしネタ背負ったアザラシのぬいぐるみ売ってるぞ土産にどうだ」うーむ日本は理解不能だ…「じゃ、あいつらどうだ？」(ガングロの群れ)うわー助けてくれ…、おい連中のケータイ、妙に小さいぞ。「アメリカのがデカすぎんだよ、ほらこの店で売ってるぞ」1円って書いてあるぞ、一体どうなってんだ…。

「マンガ喫茶いくか？」なにそれ。「マンガの図書館とゲーセンとインターネットカフェが合体して24時間営業」グググそれが日本アニメとゲームのパワー源か。「そうだ我々は真夜中に鍛えておる」そういやハーバード大学んとこの映画館でもものけ姫やってるな。「他にどんな日本作品してる？」黒澤、攻殻機動隊、北野武…「反ハリウッドだよな」アメリカっぼいのやりたきゃハリウッドでやるしかないさ。日本は日本だからいいんだ。

「国際的に普遍性がある表現ってのは結局ハリウッドも含めて全部、土着とか土俗のものじゃないかね」エキゾチックとかオリエンタルってんじゃないでね。和食はもうエキゾチックじゃなくて普遍だよな。「そもそも人のことをエキゾチックなんて好奇の目でみるのはアメリカが未開な証拠なんだよ、日本はアメリカをエキゾチックなんて思わないぞ」ムッ、しかし音楽はどうだ？西洋指向ばっかじゃないか？坂本龍一や少年ナイフのあと、どんなメッセージ出してる？「たしかに映像系に比べて世界で闘ってないな、せいぜいアジアだな」

西洋指向ってのは永久に西洋に勝てねえ敗北主義なんだよ。「よし東洋を聴かせてやるぜベイビー」うわっ、うるせー、なんだこの店。「パチンコ」(軍艦マーチと電子音とジャラジャラの中、ヤツは1000円の投資で7箱も稼ぎ出した!)なんだこのメダルは。「それ裏まわって窓口で売れば3万5千円のキャッシュになる」なに？犯罪回避の芝居か？なんでまたそんなややこしいシステムを…「日本はな、そういう虚構を全員で演じる劇場なんだよ」すんげえ高度な国…。

---